

話題沸騰!!!
単行本
第1巻
絶賛発売中
!!!!!!

地獄からの帰還もつかの間
新たな戦いが迫る!!!

ラブスレイヴ協会
第三支部

……よかったな
協会の人間が
服を回収して
くれてて

うん……

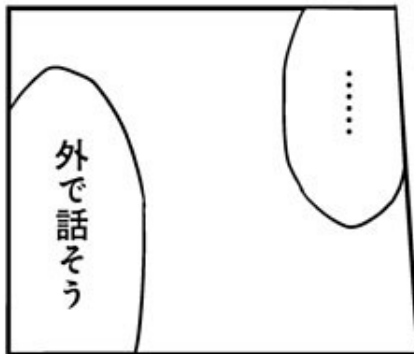
次世代カードゲームバトルホビー

ラブスレイヴ
LUVSLAVE

水龍 敬
みずりゅう けい

第11話 「衝撃! インバイターとお姉ちゃん秘密!」

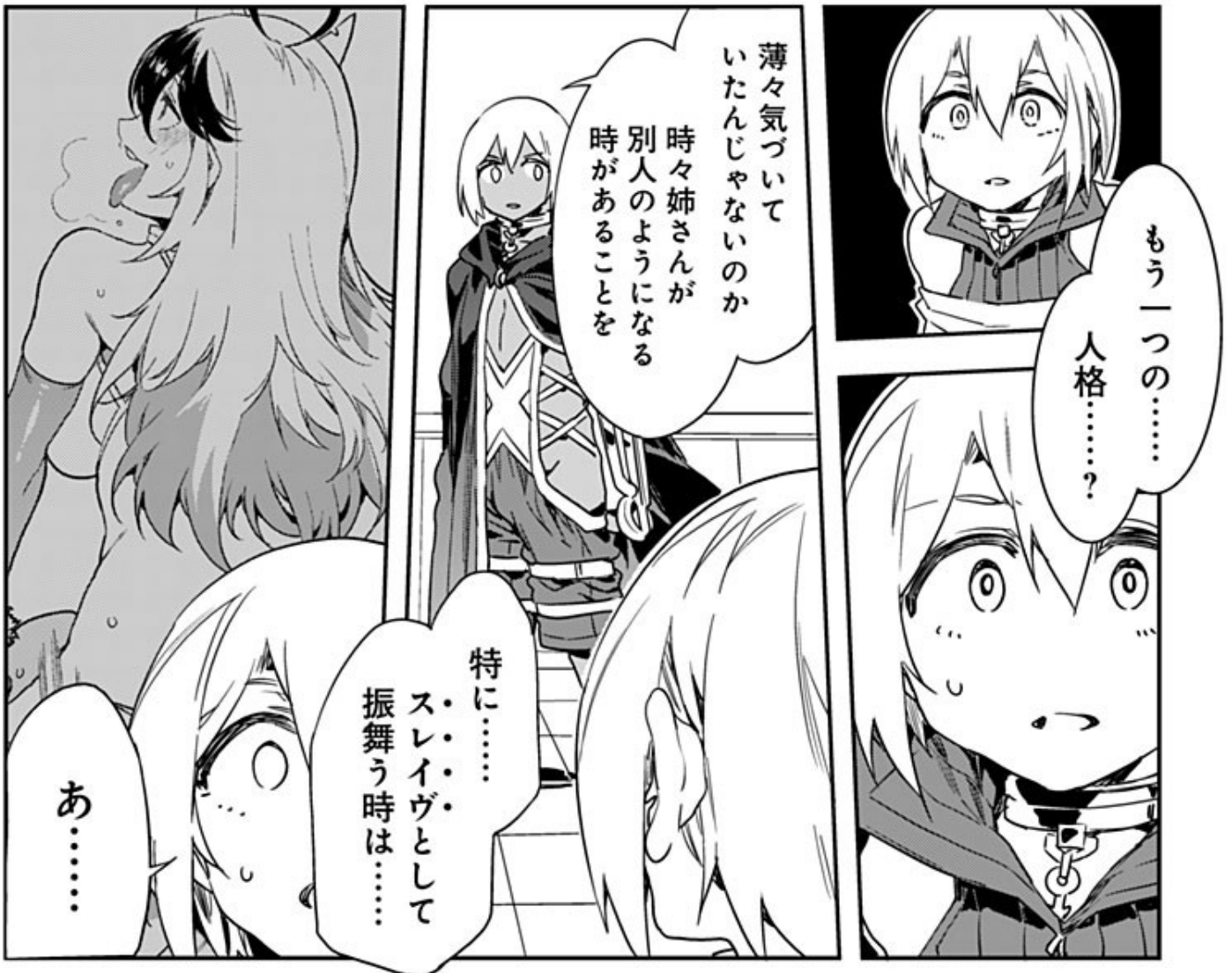






あれは……
あれは姉さんの
もう一つの人格

「遊女」だ



もう一つの……
人格……？

薄々気づいて
いたんじゃないのか
時々姉さんが
別人のようになる
時があることを

特に……
スレイヴとして
振舞う時は……

あ……

丁度母さんが
いなくなつて
暫くしてから……

姉さんは時々
『もう一人の姉さん』に
なることがあつた

姉さん！

何してるんだよ！

その男の人は
一体……！

あ

あ

そんな時
姉さんは自分のことを
『ユナ』と呼ぶんだ

なアに陽斗……
私の邪魔を
しないでよ……

ゆらあ……

ユナはね……

もう我慢

できないの……

欲しくて欲しくて
たまらないの……



邪魔なんて……
しないよ

でも……

そういう
ことは……
俺以外とは
しないって
約束だろ……



……あは
そうだったね

おいで
陽斗……



俺は

『もう一人の
姉さん』が
好きだった



あっ……

姉さ……

ユナ……!

あはっ♡

きもちいいねえ♡
陽斗……♡

あはっ……

あはっ……
あはっ……

あはっ

陽斗ので
いっばい……

嬉しいな……

ユナ……

あはっ
あはっ

あはっ

あはっ

あはっ

……正直まだ
子供だった俺を

「ユナ」は本気で
相手にしてた
わけじゃないと思う

時々「ユナ」は

こっそり外に出て
夜遊びに耽っていた
ようだった

だけど……

奔放で
何者にも縛られない
もう一人の姉さん……

いつも何かを
抱え込んでいる
ようだった姉さんが

その時だけは
活き活きしてる
ように見えたんだ

俺は
あれこそが

姉さんの本来の
姿なんじゃないか
とさえ思っていた



あれは……

あの夢の中の
兄さんは……

お姉ちゃんを
助けたわけ
じゃなく

……嫉妬
してたんだ



姉さんは

お前の前では
決して「ユナ」に
なることはなかった

……多分お前には
見られたくない
姿だったんだろう

俺はそれが
イヤだった

まるで

お前だけ
特別扱いされて
いるようで……

俺はますます
「ユナ」の方に
惹かれるようになった

だが
そんな日々は

ある日突然
終わった



俺達が……

ひなげし
雛芥子叔母さんの
家に……!?

なんで……!!



ごめんね……

私……まだ
若いから

二人の保護者には
なれないって……

うちはお父さんも
お母さんもいなく
なっちゃったから……

どちらか一人なら
特例として
認められるって……

だけど私……

どちらかなんて
選べない……



大丈夫……

雛芥子叔母さんは
いい人だし

きっと優しく
してくれるから……

この時は
俺も姉さんも

叔母さんの本性を
知らなかった



お姉ちゃん……

ボク……

もういっしょに
いられないの……？

わわわわ



優斗……

大丈夫よ……

ずっと会えない
わけじゃないから……

わあ
あああ
わあ

ぐんぐんぐんぐん



泣かないで
優斗……

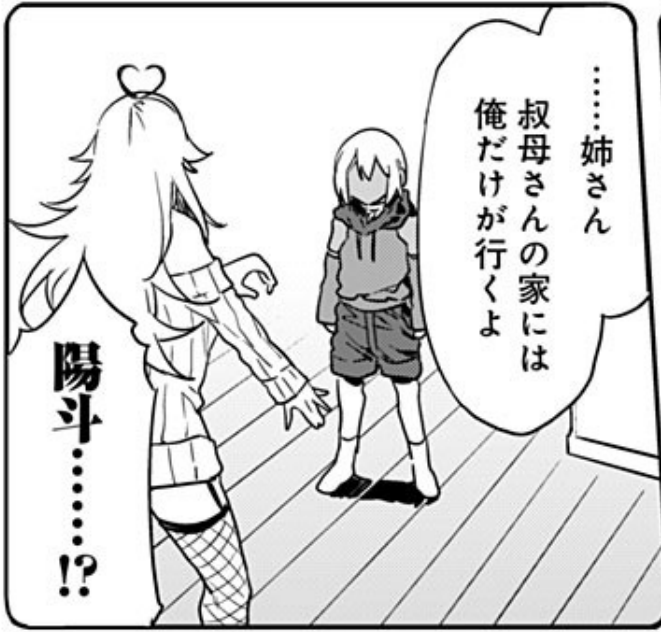
お姉ちゃん
だって……

わあ
あああ
わあ



その時
困ったような
顔をして

俺の顔を見た
姉さんの表情が
今も忘れられない



陽斗……!!?

……姉さん
叔母さんの家には
俺だけが行くよ



俺はどこかで
期待してた

優斗の前で
「ユナ」が出てきて
俺のことを
引き留めて
くれるって……



俺は

姉さんにも
「ユナ」にも
捨てられたんだと
思った

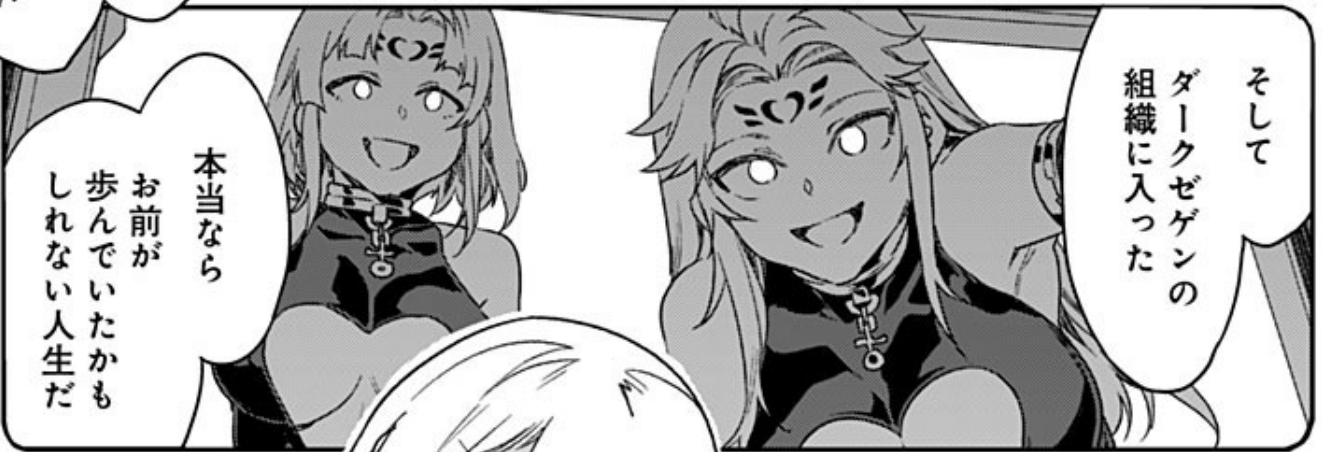
その日
「ユナ」は
現れなかった

だが



その後は
話した通りだ

俺は叔母さんに
性の道具にされて
逃げるように
地下世界を彷徨い



そして
ダークゼゲンの
組織に入った

本当なら
お前が
歩んでいたかも
しれない人生だ



ダークゼゲンと
戦うことを
決意したんだ!

裏では地下世界の
少年達を
食い物にして

この世界を
支配しようと
していた……

そのことに
気づいた俺は



だが……
ダークゼゲンは

表向きは自力で
スレイヴを
見つけられない
弱い少年達のためと
耳心地のいいことを
言いながら



やっぱり……

兄さんも
ダークゼゲンと戦う
つもりで……!?

ダークゼゲンへの
絶対服従が
刷り込まれている
洗脳スレイヴでは

ダークゼゲンを
倒すことは
できない

ダークゼゲンに
対抗するための
スレイヴを
探しているうちに

俺は「ユナ」のことを
思い出した



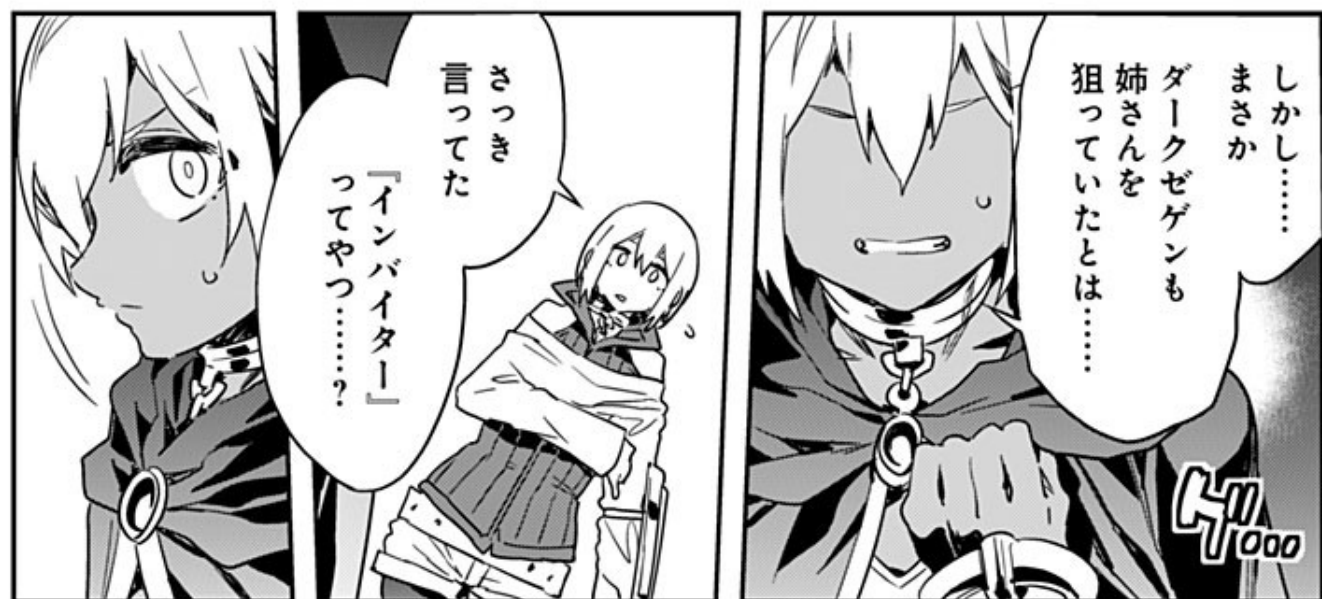
「ユナ」ならば
きつと良い
スレイヴになれる……

そう思って
姉さんを連れ去ったが

結局俺の前に
「ユナ」は現れず

姉さんの力を
引き出すことも
できなかった……

お前に敗れたのが
いい証拠だ



しかし……
まさか
ダークゼゲンも
姉さんを
狙っていたとは……

さっき
言ってた

「インバイター」
ってやつ……?

47/1000

「インバイター」とは

ダークゼゲンの
研究している
「究極のスレイヴ」だ

目が合い
手が触れるだけで
精を絞り取る

全ての性を
支配する存在だと
聞いているが

実際に見たものは
誰もいないという

研究の詳細は
俺も知らないが
姉さん……ユナの
あの力は……

「インバイター」の
ものとしたか
思えない

ダークゼゲンが
ユナに何かを
したのか……
ユナ自身が
「インバイター」として
覚醒したのか……

そこまでは
わからないが
とにかく俺は

姉さんの居場所を
探しつつ

「インバイター」について
もっと調べて
みようと思う

それには
及ばないよ

キサラギさん！

大体の事情は
わかった

あとのことは
私達大人に
任せなさい

キミ達子供に
任せるには
荷が重すぎる問題だ

キミ達のお姉さんは
必ず我々が
助け出してみせる

だからキミ達は
もうこの問題に
関わらない方がいい

陽斗くん

キミは元々
ダークゼゲンの
部下だったね

ダークゼゲンの
組織について

詳しく聞かせて
もらう必要がある
一緒について
来てくれるね

チ……

仕方ないな

兄さん……

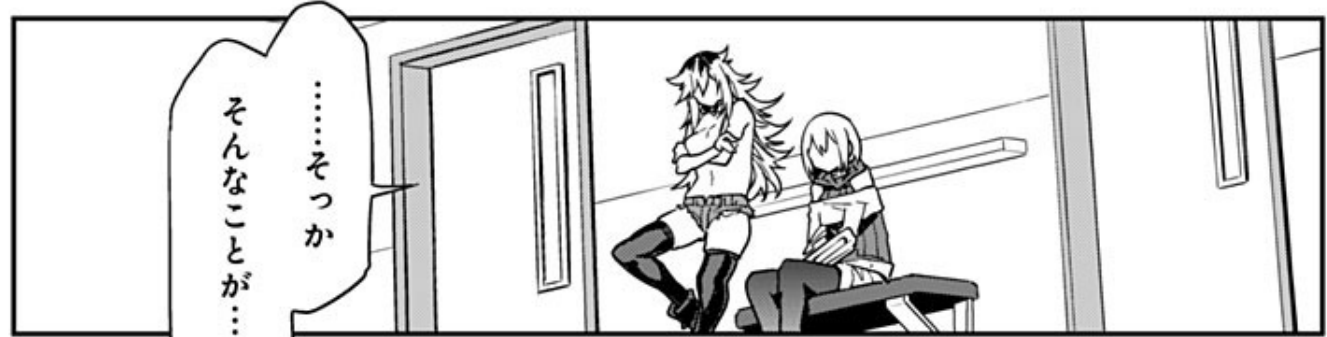


それと
優斗くん
キミは自分の姉を
スレイヴにしていたね

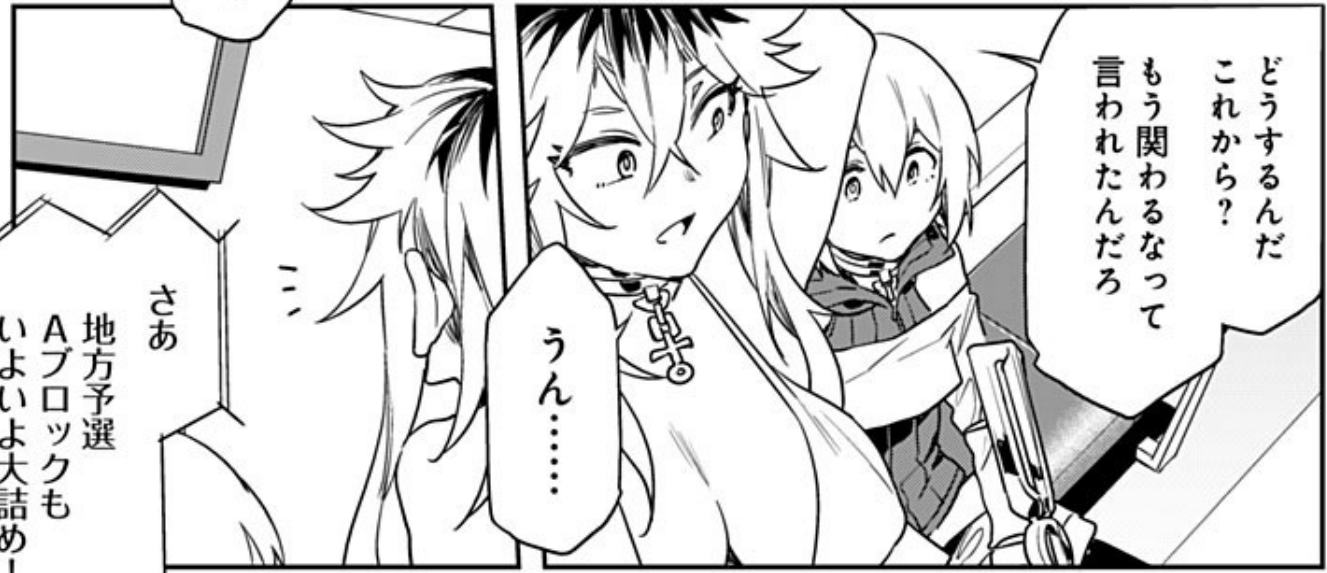
本来は協会の
公式ルールとしては
重大な違反だが……
今はそれどころじゃ
なさそうだから
不問にする
だけど

もしお姉さんを
取り戻しても
もうスレイヴには
できないよ

………！



……そっか
そんなことが……



どうするんだ
これから？
もう関わるなって
言われたんだろ

うん……

さあ
地方予選
Aブロックも
いよいよ大詰め！

今回は
飛び入り参加の
マスターが

まさかの
番狂わせを
見せました！

大胆不敵な
全裸のスレイヴに
誰一人として
太刀打ちできず！

誰が呼んだか
その二つ名は……

「ネイキッド・デビル」
ユナ！





ゆらあ...

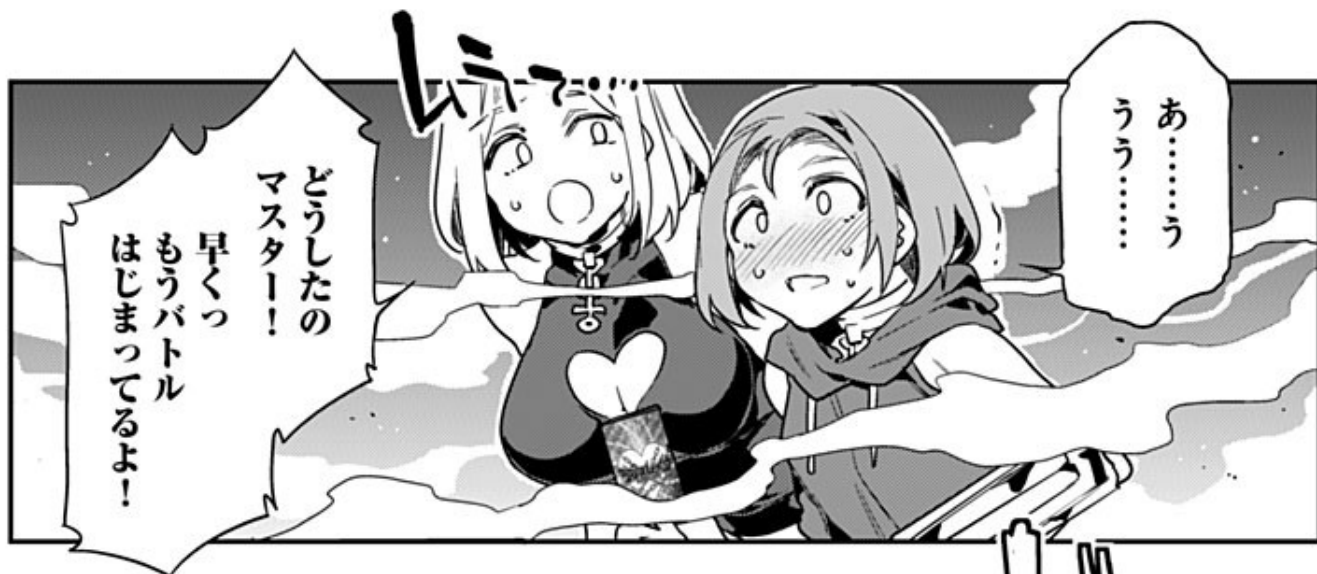
あはっ

イヒー！

私もう
お腹へこへこ
だよお
キミのうと
胸へおかけな

♡♡♡♡♡

ぽっぽっ



どうしたの
マスター!
早くっ
もうバトル
はじまってるよ!

あ……う
うう……

レニ?



レニ?

はあ



お……
お願いします

おおーっと!
またしても
試合放棄だーっ!!

た……食べて……

食べて……
くださる……♡

んっ
良いキ♡

……っ

それじゃ
遠慮なく……

いただき
まーす♡

あはん♡

ん……









だったら……

ボクも
行くよ

咲鬼のマスターは
ボクだ……！

優斗……

よおし……

行くぜ
優斗！



うん！

■いざ激戦のステージへ!!! 少年達の運命はいかに!!!

